

編集後記：最近、日本と中国・韓国との関係悪化が話題となっています。そんな中、たまたま中国関係の講義を受けさせていただく機会がありました。この講義をさかのぼること一年半ほど前、私は中国の杭州を訪問しました。風光明媚で漢詩のような趣のある西湖の湖面の向こう側に見える高層ビル群、街中に掲げられた携帯電話の巨大広告などをみて、年率9%程度で経済成長する中国のエネルギーを実感しました（中華料理が安くておいしいということも実感しました）。しかし、今回の授業では、大気・水質汚染、砂漠化などの環境問題、貧富の格差の拡大、役人の汚職腐敗、失業問題・強制的な土地収用、抗議から民衆暴動・騒乱事件が年間で数万の単位で発生するといった深刻な国内問題について、さらに「愛国」と漢字の表記は同じでも両国で意味するところが若干異なるといった文化論などを教わりました。

いまや中国は米国に次ぐ世界第2位のエネルギー消費国で、資源の開発・輸入に懸命です。しかしエネルギー効率は先進国に比べて悪いため無駄使いが多く、そのため中国政府も2006年から2010年までの第11次5か年計画期でエネルギー消費量を20%削減する目標を掲げています。中国側も高度な省エネ技術を持つ日

本に大いに期待しており、日本側としても良い意味（両者が得をするという意味）でビジネスチャンスとなり、CO₂削減や中国の大気汚染緩和にも貢献できるでしょう。

日中韓関係という目で「天気」を読みますと、2005年だけでも

- ・「第1回日本・中国・韓国気象学会共催国際シンポジウム報告」11月号
- ・「第3回国際モンスーンワークショップ(IWM-III)参加報告」9月号
- ・「『風送ダストの気候影響に関する日中共同研究』に係わる『第4回ADECワークショップ』報告」6月号などを始め、いくつもの原稿をピックアップすることが出来ます。やはり気象の分野は「大気が国境を越えて流れる」ため協力関係を築く要素が多いでしょう。天気誌上に見られるような日中韓の協力における学会員の皆様の活躍は心強い限りです。反面、一若輩学会員の私は、語学力や学問の無さのため、杭州でも会話が続きず歯がゆい思いをしました。

気象を通しての交流が、ともすると冷え込みがちな中国・韓国との相互理解と関係改善に少しでも役立てばと願う次第です。 (桜井敏之)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)
 編集委員 里村雄彦(理事)・古川武彦(理事)
 藤部文昭(理事)
 青柳曉典・池田 徹・榎本 剛
 大淵 濟・笠原真吾・勝山健一
 金田昌樹・上口賢治・川島正行
 小出 寛・小林健二・桜井敏之
 佐藤晋介・小司禎教・関山 剛
 高橋 宙・田口晶彦・寺坂義幸
 中西幹郎・中村 尚・新村典子
 林 修吾・平井雅之・別所康太郎
 水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 伊藤道男・渡部雅浩
 東北 土井雅彦・岡本 創
 関東 岡田憲治・河野耕平
 中部 岡田 京・永尾一平
 関西 松村 哲・堀之内 武
 九州 磯部英彦・中島健介
 沖縄 新里博美

編集書記 棚橋 公子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体（図書館も含む）は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
 学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp